

お知らせ

平成25年12月27日
独立行政法人農林漁業信用基金
林業管理室

林材業の業況動向調査(平成25年度下期)の結果について

当信用基金では、全国の林材業の短期的動向を把握し、林業信用保証制度の適切な運営に資することを目的として、昭和51年10月以降、上期(4月～9月)及び下期(10月～翌年3月)の状況を継続的に調査しています。

今回は、平成25年度下期分として今年11月に調査した結果を別添のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

お問い合わせ先
林業管理室：山田
長島
TEL:03-3294-5581
FAX:03-3294-5582

林材業の業況動向調査結果の概要(要点) (平成25年度下期)

平成25年12月
独立行政法人農林漁業信用基金

(調査概要)

- 独立行政法人農林漁業信用基金が、業務参考資料として、年2回実施。
- 今回は、平成25年11月時点での下期(25年10月～26年3月)の現況・見通し、25年度上期(25年4月～25年9月)の実績を調査したもの。
有効回答回収率は40.7%(有効回答企業192社。)
- 詳細情報は当基金のHP(<http://www.affcf.com/>)に掲載している。

(凡例)

- ・ DI : 動向指数(Diffusion Index)。プラス要因指数からマイナス要因指数を控除し算出
- ・ △●P : マイナス●ポイント
- ・ 前回(調査) : 平成25年6月に実施した本調査(平成25年度上期調査)

1 売上の見通し

売上の見通しDI(増加-減少)は15Pとなった(前回は±0Pであり15P上昇。特に「九州」で改善幅が著しい。)

2 資金繰り等の見通し

- (1) 資金繰りの見通しDI(好転-悪化)は△4Pとなった(前回は△12Pであり8P上昇。)
- (2) 借入金調達難易度の見通しDI(容易-困難)は1Pとなった(前回は△5Pであり6P上昇。)
- (3) 借入金残高の見通しDI(減少-増加)は17Pとなった(前回は22Pであり5P下降。)
- (4) 短期借入金の金利の見通しDI(低下-上昇)は±0Pとなった(前回は△4Pであり4P上昇。)。平均金利の実績は2.30%となった(前回より0.01%上昇。)
- (5) 売上代金の回収状況及び仕入代金の決済状況については、
 - ① 売上代金の回収状況は、「手形50%以下」が増加し、それ以外は横這いないし減少した。
 - ② 受取手形のサイトの状況は、「3ヵ月以上4ヵ月未満」、「4ヵ月以上5ヵ月未満」が増加した以外は、横這いないし減少した。
 - ③ 仕入代金の決済状況は、「手形50%以下」が増加し、それ以外は横這いないし減少した。
 - ④ 支払手形のサイトの状況は、「3ヶ月未満」、「3ヵ月以上4ヵ月未満」が減少し、それ以外は横這いないし増加した。

3 設備投資の見通し

- (1) 設備投資の見通しDI(実施-不実施)は△34Pとなった(前回は△31Pであり3P下降し、設備投資意欲は依然低調である。)。25年度上期に設備投資を実施した企業の割合は24%であり、見通しDIより1P少ない。
- (2) 設備投資の目的(上位3項目)は、「老朽化に伴う設備の更新」(58%)、「コスト低減等の合理化」(16%)、「規模拡大のための増設」(9%)であった。

4 在庫量の見通し

- (1) 原木在庫量の見通しDI(過小-過大)は37Pとなった(前回は3Pであり34P上昇。)
- (2) 製品在庫量の見通しDI(過小-過大)は15Pとなった(前回は△8Pであり23P上昇。)

5 純利益の見通し

純利益の見通しDI(増加-減少)は△8Pとなった(前回は△15Pであり7P上昇。)。地域別見通しDIは、「東北」、「関東」、「北陸」、「近畿」、「中国」で前回調査に比べ下回ったものの、その他の地域では改善されており、全国平均では前回より7P上回った。

6 木材価格の見通し

- (1) 原木価格の見通しDI(下落-上昇)は△67Pとなった(前回は△14Pであり53P下降。)
- (2) 製品価格の見通しDI(上昇-下落)は37Pとなった(前回は13Pであり24P上昇。)

7 今後の経営の見通し他

- (1) 今後の経営の見通しDI(楽-苦しい)は△16Pとなった(前回は△13Pであり3P下降。)
- (2) 今後の事業方針の見通しDI(拡大-縮小・転廃業)は8Pとなった(前回は12Pであり前回より4P下降。)
- (3) 経営上の問題点(上位4項目)は、「原材料仕入れ原価上昇」(48%)、「売上不振」(23%)、「販売価格の下落」(7%)、「人手不足」(7%)であった。

以上